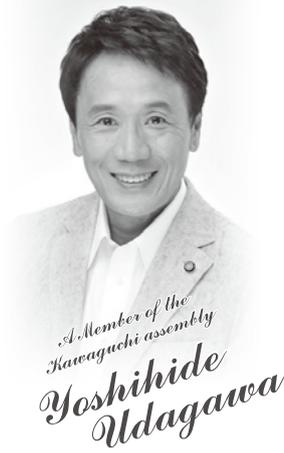


討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.85
2020年9月



「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」

令和2年 第3回

9月市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告から

令和2年9月7日～

9月25日までの19日間

市長提出議案

今回提案された議案は、予算議案3件、条例等の一般議案21件です。予算議案については、一般会計において、緊急経済対策費等に係る38億8182万3千円の補正、特別会計では、介護保険事業特別会計において、5913万2千円の補正、また企業会計では、水道事業会計において、8153万5千円の減額補正です。

一般議案については、「川口市立かわぐち市民パートナーステーション設置及び管理条例の一部を改正する条例」など、条例議案4件、契約議案2件、財産の取得議案1件、訴えの提起議案2件、和解議案2

件、専決処分の承認議案1件、市道路線の認定及び廃止議案2件、決算認定議案4件、人事議案3件です。

本市における新型コロナウイルス感染症の現状について

市内ではコロナウイルス感染症により、9月6日までに443名の方が陽性となり、12名の方がお亡くなりになりました。

7月に入り市内の感染者が著しく増加したことを受けて、直ちに様々な部局から職員を参集し、新型コロナウイルス感染症対策を担当する市保健所の体制を平常時の32名から50名、さらには64名に拡充したところと。参集した職員は、強い使命感で結ばれ、一丸となつて、相談電話や受診調整、検体搬送などの業務に取り組みんでいます。



(川口市保健所 〒333-0842 川口市前川1-11-1)

医療機関へのさらなる支援について

市内医療機関の外来や入院体制の拡充等が必要であり、ご協力いただける医療機関を支援する市独自の補助制度を、県内でいち早く創設し、市内医療提供体制の強化に取り組んで参りました。市内医療機関のご協力を受け、現在では市内の入院患者の受入れ医療機関は6箇所が増え、市民に適切な医療を

提供しているところです。さらなる支援策として、発熱している患者を診察し、必要に応じてPCR検査のための検体を採取する発熱外来を設置した医療機関に対しての補助制度を追加し、現在、44箇所の医療機関が発熱外来を設置したところです。今後50箇所を目標に発熱外来の設置に努めるとともに、医師の判断により唾液等によるPCR検査を実施するなど、市民の皆さんが断られることなく、受診しやすい医療提供体制の整備に取り組んで参ります。また、この他にも、歯科を含む医療機関が診療体制を確保するために実施した感染防止策等に対しても、補助を追加して参ります。

さらなる緊急経済対策について

市内の中小企業、小規模事業者及び個人事業者等に対し、

この困難な時期を乗り切っていただくために、全国に先駆け、市独自の小規模事業者等事業継続緊急支援金及び中小企業等事業継続支援金を支給してきました。これらの支援金については、1万6000件を超える申請を受け、約16億円を支給し、多くの感謝の声をいただいたところです。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中、家賃が固定経費の中で大きな割合を占めていることを踏まえ、さらなる支援として、市内の飲食店等に対する家賃支援金を、さらに、年末商戦にあわせ、発行総額24億円の「元氣川口商品券事業」を支援することにより、消費の回復に努めるとともに、市内経済の底上げを図っていきます。

妊産婦及び子育て世帯への支援について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、妊産婦は日常生活が制約され、里帰り出産が困難な方もいるなど、不安を抱えた状況に置かれています。こうしたことから、少しでも妊婦の方が安心できるように、健診時の移動を支援するために、交通費等を補助するとともに、国の制度を活用して、妊婦が分娩前にPCR検査を希望した場合の検査費用を負担することといたしました。家計への支援としては、国の特別定額給付金の基準日を過ぎて生まれた子どもを対象に、市独自に特別給付金を支給するなど、子育て世帯を支援していきます。

イナパーク川口の現状について

川口の自然を未来の子どもたちへ繋いでいくため、昆虫などが住める落葉広葉樹の雑木林づくりに対して、樹木寄附を募ったところ、募集開始の初日に予定数を超える応募をいただき、100本を超える樹木を来年3月までに植樹することとなりました。樹種は、オムラサキなどの幼虫の食餌木となるエノキ、カブトムシの成虫などが樹液を好むクヌギ、コナラ、ミドリシジミの幼虫の食餌木となるハンノキであり、子どもたちが昆虫などと触れ合い自然の中で遊びながら、新たな発見ができる環境学習の場である雑木林の令和3年度の開園を目指します。

旧市役所本庁舎について

令和6年度新庁舎2期棟の完成を目指し、現在、旧本庁舎の解体等を進めているところであります。

解体の機会を有効に活用し、8月3日から6日までの間、消防局による人命救助のための訓練を実施したところであります。通常の訓練では困難である、実際の壁や床に穴を開けて救出するブリーチング訓練などを実施することができ、貴重な経験を得たところです。6年に渡り、多くの市民に愛されてきた旧本庁舎は、最後まで市民のために働いてくれたものと感謝の念に堪えないところです。



ブリーチング訓練

川口市市産品フェア 2020について

経済が打撃を受けている現状においても、ピンチをチャンスに変える感染症対策製品が続々と開発されています。市産品フェアにより、このような本市の素晴らしい製品や技術を、是非とも継続して市内外へ発信していきたいという思いから、開催期間をこれまでの3日間から2日間に短縮し、感染症対策をしっかりと講じたうえで、今年度も開催します。

今回は、市内業者の新型コロナウイルス感染症関連製品を一堂に集めた特設ブースを設置することにより、市民の健康を守り、医療現場の需要にも応えられる優れた製品を

ご覧いただくとともに、出展者プレゼンテーションをウェブ配信し、来場されなくても事業所や自宅等において、ご覧いただける環境を整え、開催します。

※ごまのレポートは市長の所信と報告を抜粋加筆して作成しております。



